

---

平成 25(2013)年度

---

---

# 事業報告書

---

平成 25(2013)年 4月 1日 ~ 平成 26(2014)年 3月 31日



---

学校法人 東北学院

---

理事長挨拶	1
-------	---

## I. 法人の概要

1. 東北学院の「建学の精神」及び「教育の基本方針」	3
2. 設置する学校・学部・学科等	3
3. 沿革	4
4. 役員等の一覧	6
5. 法人の主要な審議機関等	7
6. 教職員の概要	7
7. 設置学校・教育研究組織	8
8. 事務組織	9
9. 入学定員、編入学定員、収容定員、在籍者数及び退学・除籍者数	10
10. 入学定員、志願者数及び合格者数	11
11. 修了者数、卒業者数及び卒園者数	12
12. 所在地一覧	13

## II. 事業の概要

<b>A</b> 東北学院 学校法人	1. 学校法人東北学院の管理・運営	14
	2. 人事制度の構築・SD活動の推進	16
	3. 広報活動の充実	17
	4. 施設等の整備・充実	19

<b>B</b> 東北学院 大学	1. 基本方針	24
	2. 教育活動	24
	3. 研究活動及び補助事業	28
	4. 学長室の活動	36
	5. 学生支援活動	40
	6. 学生募集	45
	7. 教育研究施設・環境の整備・充実	47
	8. 地域への貢献・地域との連携	48
	9. 国際交流	50

<b>C</b> 東北学院 ・高等 中学校	1. 教育	51
	2. 進路指導及び進路実績	52
	3. 課外活動	52
	4. 財政・設備	53
	5. 生徒募集活動	54
	6. その他	54

<b>D</b> 東北学院 榴ヶ岡 高等学校	1. 教育	55
	2. 進路指導及び進路実績	55
	3. 課外活動	55
	4. 財政・設備	56
	5. 生徒募集活動	57
	6. その他	57

<b>E</b> 東北学院 幼稚園	1. 園児数確保に対する取り組み	57
	2. 教育の充実	58
	3. 財政・設備	59

## III. 財務の概要

1. 平成25年度決算概要（財務諸表別）	60
2. 財務状況の推移の概要（平成21年度から平成25年度まで）	70
3. 財務諸表における過去5年間の推移（平成21年度から平成25年度まで）	72
4. その他	77
5. 収益事業会計	80
6. 監事監査報告書	81

# 理事長挨拶



学校法人東北学院  
理事長 松本 宣郎

『平成 25 (2013) 年度学校法人東北学院事業報告書』を公表できる運びとなりました。神さまのお守りのもと、総体的には、建学の精神に立って、諸学校の教育・研究・経営の事業遂行という所期の目的をほぼ順調に果たし得たことを、御報告いたします。これもひとえに東北学院のために全力を尽くしてお働きくださった教職員諸兄姉と、絶えざる御支援を惜しまれなかったステークホルダーの皆さまのおかげと、厚く感謝申し上げます。

平成 25 年度は東日本大震災から 3 年目を数える年でもありました。本学院としては、なお被災の痛みを持ち続ける学生生徒への支援を継続しています。またある程度落ち着いたところで、震災時の本学院の状況や危機対応を振り返って記録にとどめ、広く将来の指針を供するために、東北学院デジタルアーカイブ『東日本大震災の記録 Remembering 3.11』及び震災記録集『After 3.11 東日本大震災と東北学院』を公開・公刊することができました。また大学学長室の企画による「震災と文学」の一連の講演会や総合学術誌『震災学』の刊行継続が行われ、東日本復興への貢献の一端を担ったことも付記したいと思います。

大学では、東北大学片平南地区の一部購入手続が完了し、土樋キャンパス再開発構想の起爆剤となることが期待されます。平成 25 年度中にこの土樋キャンパス北地区新校舎（仮称）の設計原案が完成し、平成 26 年度には建設の見通しとなりました。また 3 年が

かりで情報システムの大規模な更新を行い、全学的に機能的な ICT システムが始動しました。学生確保の面ではほぼ昨年と同じでしたが、入学者の定員管理も厳しい状況になってきており、これにも適切に対応していかなければなりません。

また、学長主導のもと、新たに「東北学院大学中期達成目標 2013-2018」を制定し、建学の精神に立つ教育の充実、TG ベーシックによる社会対応型教養教育の強化等 7 項目を立てて、既にそのいくつかが実現しています。学長・学部長を中心とした教学改革推進委員会が設置されたことがその一つであります。「地域共生推進機構」も設置されました。地域に貢献する大学として、本機構が軸となって地域諸機関との連携協定をさらに充実させることができました。宮城県教育委員会、国土交通省東北地方整備局、岩手県宮古市との諸連携の協定調印が相次いで行われました。グローバル化も達成目標の一つですが、ブルガリア、韓国、ベトナム、タイの各大学との協力協定調印が新たに実現しました。

中学校・高等学校と榴ヶ岡高等学校でもほぼ生徒定員が満たされ、堅実に東北学院本来の教育が施されています。進学面でもスポーツなど課外活動面でも生氣あふれる生徒たちの様子が知らされています。中高大一貫教育の実質化に向けて、連絡協議が定期的に開かれています。

東北学院創立 130 年まであと 2 年であります。特

筆さるべきは、平成 26 年度から新たに「東北学院史資料センター」を設置することとしたことでもあります。建造物に加え、明治期からの宣教師たち、戦時中の苦闘などの貴重な歴史資料を有している本学院には展示室・博物館が既に活用されていますが、本センターには本学院の建学の精神の浸透と構成員の東北学院への理解と愛着を深める役割を果たすことが期待されています。

幼稚園においても、日々のお祈りの中、子供たちは健やかに成長しております。

財政面でも堅調を維持することができました。「第Ⅰ期中期財政フレーム」がよき導きの糸となり、平成 25 年度末には「第Ⅱ期中期財政フレーム」を策定しました。新年度は新棟建設が始まり、これに合わせての土樋キャン

パスの整備、多賀城キャンパスのインフラ整備、中学校・高等学校と榴ヶ岡高等学校の設備整備などに対応していかなくてはなりません。「蛇のごとく賢く、鳩のように素直に」進みたいと思います。

新しい職員人事制度の導入を検討し、全体的な事務組織改編にも着手しました。しっかりと地についた教学経営を進められたことに感謝しつつ、安閑としてられないことを覚悟しなくてはなりません。少子化に直面し、震災からの復興もまだ途上の現在、本学院の前途には険しい課題が山積しています。教職員は、キリストによってつくられた、一つの体であります。一丸となって新年度への取り組みを歩み出すことを心より願って、平成 25 年度事業報告書公開にあたっての御挨拶といたします。

# I. 法人の概要

## 1. 東北学院の「建学の精神」及び「教育の基本方針」

### <建学の精神>

東北学院の三校祖、押川方義、W・E・ホーイ、D・B・シュネーダーは、東北学院の建学の精神を、宗教改革の「福音主義キリスト教」の信仰に基づく「個人の尊厳の重視と人格の完成」の教育にあるとした。

その教育は、聖書の示す神に対する畏敬の念とイエス・キリストにならう隣人への愛の精神を培い、文化の進展と福祉に貢献する人材の育成を目指すものである。

### <教育の基本方針>

東北学院は創立以来、本法人に所属する各教育機関において一般の教育・研究活動と共に福音主義キリスト教に基づく宗教教育を一貫して行ってきた。

今後ともそれぞれの教育機関は、正規の学校行事としての礼拝と正課必修としてのキリスト教教育を不変のこととして実施していくものとする。

## 2. 設置する学校・学部・学科等

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

設置する学校	開校年月日	学部・学科等
東北学院大学	昭和 24 年 4 月	大学院
		文学研究科
		経済学研究科
		経営学研究科
		法学研究科
		工学研究科
		人間情報学研究科
		法務研究科
		文学部
		英文学科
		(キリスト教学科)
		総合人文学科
		歴史学科
		経済学部
		経済学科
		(経営学科)
		共生社会経済学科
		経営学部
		経営学科
		法学部
法律学科		
工学部		
機械知能工学科		
電気情報工学科		
電子工学科		
環境建設工学科		
教養学部		
人間科学科		
言語文化学科		
情報科学科		
地域構想学科		

東北学院高等学校	昭和 23 年 4 月	全日制課程 普通科
東北学院榴ヶ岡高等学校	昭和 47 年 4 月	全日制課程 普通科
東北学院中学校	昭和 22 年 4 月	
東北学院幼稚園	昭和 37 年 4 月	

※ ( ) は現在募集を停止している学科。

### 3. 沿 革

明治19 (1886) 年 6 月	仙台神学校開校
明治24 (1891) 年 9 月	東北学院と改称 予科、本科、神学部を設置
明治28 (1895) 年	普通科、文科専修部、理科専修部に改組
明治37 (1904) 年 3 月	普通科、専門科 (文学部、神学部) に改組
明治38 (1905) 年 6 月	専門科を専門部 (文科、神学科) に改称
明治41 (1908) 年 5 月	社団法人東北学院を設置
大正 4 (1915) 年	普通科を中学部と改称
大正 7 (1918) 年	専門部を神学科 1 科、同 2 科、文科、師範科、商科の 5 科に改組
大正14 (1925) 年 8 月	神学部 (1 科、2 科)、専門部 (文科、師範科、商科) の 2 部 5 科に改組
昭和 4 (1929) 年 8 月	社団法人東北学院を財団法人東北学院に改組
9 月	専門部を高等学部と改称
昭和11 (1936) 年 3 月	文科、師範科を文科第一部、同第二部と改称
昭和12 (1937) 年 3 月	神学部を東京日本神学校に合併
昭和18 (1943) 年 4 月	高等学部商科を高等商業部、中学部を東北学院中学校と改称
昭和19 (1944) 年 4 月	航空工業専門学校設置
昭和20 (1945) 年12月	航空工業専門学校を工業専門学校と改称
昭和22 (1947) 年 4 月	新制東北学院中学校設置 工業専門学校廃止
昭和23 (1948) 年 4 月	新制東北学院高等学校並びに同第二部 (定時制課程) 設置
昭和24 (1949) 年 4 月	学制改革に伴い東北学院大学文経学部英文学科、同経済学科設置
昭和25 (1950) 年 4 月	東北学院短期大学部 (2 年制) 併置。英文科、経済科を置く
昭和26 (1951) 年 2 月	財団法人東北学院を学校法人東北学院に改組
昭和27 (1952) 年 4 月	短期大学部に法科増設
昭和34 (1959) 年 4 月	東北学院短期大学部の入学募集停止 東北学院大学文経学部第二部設置 東北学院高等学校榴ヶ岡校舎設置
昭和35 (1960) 年 3 月	東北学院短期大学部廃止
昭和37 (1962) 年 4 月	東北学院大学工学部設置(機械工学科、電気工学科、応用物理学科) 東北学院幼稚園設置
昭和39 (1964) 年 4 月	東北学院大学文経学部一部、同二部を文学部一部、同二部並びに経済学部一部、同二部に改組 東北学院大学大学院設置 (文学研究科修士課程英語英文学専攻)
昭和40 (1965) 年 4 月	東北学院大学法学部設置 東北学院大学大学院に経済学研究科修士課程設置 (経済学専攻)
昭和41 (1966) 年 4 月	東北学院大学大学院に文学研究科博士課程設置 (英語英文学専攻) 東北学院大学大学院に工学研究科修士課程設置 (応用物理学専攻)
昭和42 (1967) 年 4 月	東北学院大学工学部土木工学科増設
昭和43 (1968) 年 4 月	東北学院大学大学院に経済学研究科博士課程 (経済学専攻)、工学研究科博士課程 (応用物理学専攻) 設置
昭和46 (1971) 年 4 月	東北学院大学大学院工学研究科修士課程に機械工学専攻、電気工学専攻増設
昭和47 (1972) 年 4 月	東北学院榴ヶ岡高等学校設置

- 昭和49（1974）年 4 月 東北学院大学大学院工学研究科博士課程に機械工学専攻、電気工学専攻増設
- 昭和50（1975）年 4 月 東北学院大学大学院に法学研究科修士課程設置（法律学専攻）
- 昭和54（1979）年 4 月 東北学院大学大学院に法学研究科博士課程設置（法律学専攻）
- 昭和62（1987）年 3 月 東北学院高等学校第二部（定時制課程）廃止
- 平成元（1989）年 4 月 東北学院大学教養学部設置（教養学科—人間科学・言語科学・情報科学専攻）
- 平成2（1990）年 4 月 東北学院大学大学院に工学研究科土木工学専攻（修士課程）設置
- 平成4（1992）年 4 月 東北学院大学大学院に工学研究科土木工学専攻（博士課程）設置
- 平成6（1994）年 4 月 東北学院大学大学院に人間情報学研究科人間情報学専攻（修士課程）設置
- 平成7（1995）年 4 月 東北学院榴ヶ岡高等学校を男女共学制に移行
- 平成8（1996）年 4 月 東北学院大学大学院に人間情報学研究科人間情報学専攻博士課程（後期）設置  
東北学院高等学校収容定員に係る学則変更認可（入学定員300名→360名）  
東北学院榴ヶ岡高等学校収容定員に係る学則変更認可（入学定員180名→270名）
- 平成9（1997）年 4 月 東北学院大学大学院に文学研究科アジア文化史専攻（修士課程）・ヨーロッパ文化史専攻（修士課程）設置
- 平成11（1999）年 4 月 東北学院大学大学院に文学研究科アジア文化史専攻博士課程（後期）・ヨーロッパ文化史専攻博士課程（後期）設置  
東北学院大学収容定員の増加に係る学則変更認可（編入学定員設置）
- 平成12（2000）年 4 月 東北学院大学収容定員の増加に係る学則変更認可（文学部一部英文学科昼間主コース・夜間主コース、経済学部一部経済学科昼間主コース・夜間主コース、同商学科昼間主コース・夜間主コース増設、文学部二部英文学科・経済学部二部経済学科学生募集停止）  
〔ただし文学部一部英文学科夜間主コース、経済学部一部経済学科夜間主コース及び商学科夜間主コースの編入学定員（3年次）の受入れは平成14年4月1日〕  
東北学院大学の期間を付した入学定員の設定に係る学則変更認可（経済学部一部経済学科昼間主コース、同商学科昼間主コース、法学部法律学科）  
東北学院大学文学部一部を文学部に、経済学部一部を経済学部に名称変更
- 平成13（2001）年 4 月 東北学院大学の学部の学科名称変更（基督教学科をキリスト教学科に、商学科を経営学科に、教養学科言語科学専攻を教養学科言語文化専攻に変更）
- 平成14（2002）年 4 月 東北学院大学大学院に経済学研究科経営学専攻（修士課程）設置  
東北学院大学の学部の学科名称変更（工学部機械工学科を機械創成工学科に、電気工学科を電気情報工学科に、応用物理学科を物理情報工学科に、土木工学科を環境土木工学科に変更）
- 平成16（2004）年 4 月 東北学院大学大学院法務研究科法実務専攻（専門職学位課程）設置  
東北学院大学収容定員の増加に係る学則変更（臨時的定員の恒常的定員化）
- 平成17（2005）年 4 月 東北学院大学の学部の学科名称変更（文学部史学科を文学部歴史学科に変更）  
東北学院大学教養学部教養学科を人間科学科、言語文化学科、情報科学科、地域構想学科の4学科に改組
- 平成17（2005）年 7 月 東北学院大学文学部二部英文学科廃止
- 平成18（2006）年 4 月 東北学院大学工学部を機械知能工学科、電気情報工学科、電子工学科及び環境建設工学科の4学科に改組
- 平成19（2007）年 7 月 東北学院大学経済学部二部経済学科廃止
- 平成21（2009）年 4 月 東北学院大学経済学部を改組し、経済学部経営学科を経営学部経営学科とし、経済学部にはこれまでの経済学科に加え、共生社会経済学科を設置  
東北学院大学大学院経済学研究科を改組し、経済学研究科経済学専攻と経営学研究科経営学専攻を設置
- 平成22（2010）年 4 月 東北学院大学大学院工学研究科を改組し、電子工学専攻（博士前期課程）を設置  
東北学院大学大学院工学研究科土木工学専攻を環境建設工学専攻に名称変更
- 平成23（2011）年 4 月 東北学院大学文学部キリスト教学科を総合人文学科へ改組
- 平成24（2012）年 4 月 東北学院大学大学院工学研究科電子工学専攻（博士後期課程）を設置
- 平成25（2013）年 2 月 東北学院大学工学部機械創成工学科、物理情報工学科、環境土木工学科、教養学部教養学科及び大学院工学研究科応用物理学専攻廃止
- 平成25（2013）年 3 月 東北学院大学大学院経済学研究科経営学専攻廃止
- 平成25（2013）年 7 月 東北学院大学文学部史学科廃止

## 4. 役員等の一覧

(1) 役員 (定員数 理事 22 人、監事 3 人、※兼務者 1 人) (平成 26 年 3 月 31 日現在)

	氏 名
理 事 長	平河内 健 治
理 事 (学院長)	星 宮 望
理 事 (大学長)	松 本 宣 郎
常 任 理 事 (総務担当)	大 塚 浩 司
常 任 理 事 (財務担当)	関 谷 登
常 任 理 事 (人事担当)	柴 田 良 孝
理 事 (総務担当副学長)	佐々木 俊 三
理 事 (学務担当副学長)	齋 藤 誠
※ 理 事 (中学校長・高等学校長)	大 橋 邦 一
理 事 (榴ヶ岡高等学校長)	湯 本 良 次
理 事 (法学部長)	高 木 龍一郎
理 事 (法人事務局長)	高 橋 清 昭

	氏 名
理 事	一 力 雅 彦
理 事	後 藤 久 幸
理 事	佐々木 哲 夫
理 事	高 橋 和 人
理 事	日 野 哲
理 事	望 月 修
理 事	森 山 博
理 事	渡 邊 克 彦
理 事	渡 邊 忠 雄
監 事 (常 勤)	那 須 和 良
監 事	霜 山 忠 男
監 事	竹 村 達 也

(2) 評議員 46 人

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

	氏 名
学 院 長	星 宮 望
文 学 部 長	辻 秀 人
経 済 学 部 長	原 田 善 教
経 営 学 部 長	菅 山 真 次
法 学 部 長	高 木 龍一郎
工 学 部 長	伊 達 秀 文
教 養 学 部 長	佐久間 政 広
宗 教 部 長	佐々木 哲 夫
総 務 部 長	日 野 哲
総 務 課 長	齋 藤 信 二
中学校・高等学校副校長	岩 上 敦 郎
中学校・高等学校副校長	大 友 正 昭
榴ヶ岡高等学校副校長	山 口 稔
幼 稚 園 長	阿 部 正 子
庶 務 部 長	齋 藤 英 夫
財 務 部 長	駒 板 高 明
施 設 部 長	木 村 安 博
本法人各部門教職員	佐 藤 克 徳
〃	河 西 晃 祐
〃	熊 沢 由 美
〃	大 崎 尚 幸
〃	山 口 伸 行
〃	渡 辺 光 昭

	氏 名
本法人各部門教職員	菱 沼 高 一
卒 業 生	亀 井 文 行
〃	仁 志 武 雄
〃	三 井 精 一
〃	坂 井 道 郎
〃	中 西 利 美
〃	村 上 教 行
〃	大 槻 秀 樹
〃	川 添 良 幸
〃	小 原 優
〃	庄 子 正 昭
〃	鈴 木 勇
〃	鎌 瀧 敬 司
学 識 経 験 者	渡 邊 忠 雄
〃	保 科 隆
〃	長 尾 厚 志
〃	ジェフリー・メンディーック
〃	松 本 芳 哉
〃	飯 岡 智
〃	森 山 博
〃	高 橋 和 人
〃	望 月 修
〃	宮 川 信 明

## 5. 法人の主要な審議機関等

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

会議の名称	構 成 員
理 事 会	学院長、大学長、副学長、学部長互選による者、校長、法人事務局長、評議員から 4 人、学識経験者から 9 人
評 議 員 会	学院長、学部長、宗教部長、総務部長、総務課長、副校長、幼稚園長、庶務部長、財務部長、施設部長、法人職員から 7 人、卒業生で 25 歳以上の者から 12 人、学識経験者から 10 人
常 務 理 事 会	理事長、学院長、常任理事、大学長、副学長、学部長互選理事、校長、法人事務局長
宗 教 協 議 会	理事長、学院長、大学長、副学長、校長、副校長、幼稚園長、宗教部長、総務部長、総合人文学科長、大学宗教主任、キリスト教文化研究所長、宗教音楽研究所長、宗教主任、法人事務局長、宣教師代表、その他学院長が委嘱する者
施 設 ・ 設 備 等 整 備 委 員 会	常任理事、大学長、副学長、校長、幼稚園長、法人事務局長、法人事務局次長、庶務部長、財務部長、庶務課長、財務課長、総務部長、施設部長、総務課長、施設課長、中学校・高等学校事務長、榴ヶ岡高等学校事務長、幼稚園事務長、その他委員会が必要と認める者
人 事 会 議	常任理事、大学長、副学長（総務担当）、校長、幼稚園長、法人事務局長、法人事務局次長、庶務部長、財務部長、人事部長、総務部長
財 務 会 議	常任理事、大学長、副学長、校長、幼稚園長、法人事務局長、庶務部長、人事部長、広報部長、財務部長、庶務課長、人事課長、財務課長、総務部長、施設部長、総務課長、施設課長、中学校・高等学校事務長、榴ヶ岡高等学校事務長、幼稚園事務長

## 6. 教職員の概要

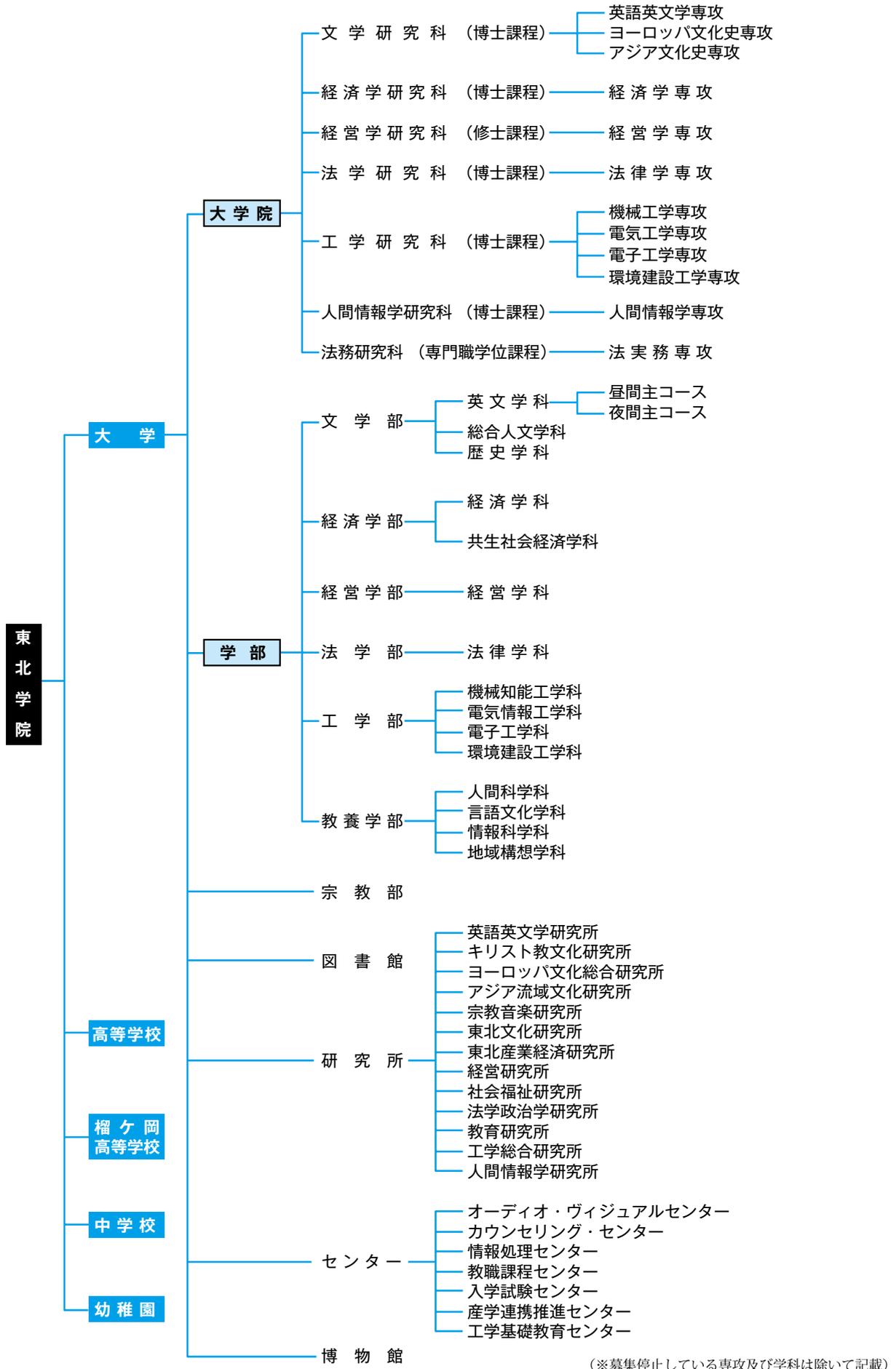
(平成 25 年 5 月 1 日現在) (単位：人)

区 分		法 人 事 務 局	大 学	中学校・ 高等学校	榴ヶ岡 高等学校	幼稚園	計
教 員	本 務	0	301	77	44	6	428
	兼 務	0	428	53	31	11	523
職 員	本 務	40	193	11	8	0	252
	兼 務	0	134	5	8	3	150

※備考：本務（専任）教職員の平均年齢は、教員 49.4 歳、職員 46.6 歳

## 7. 設置学校・教育研究組織

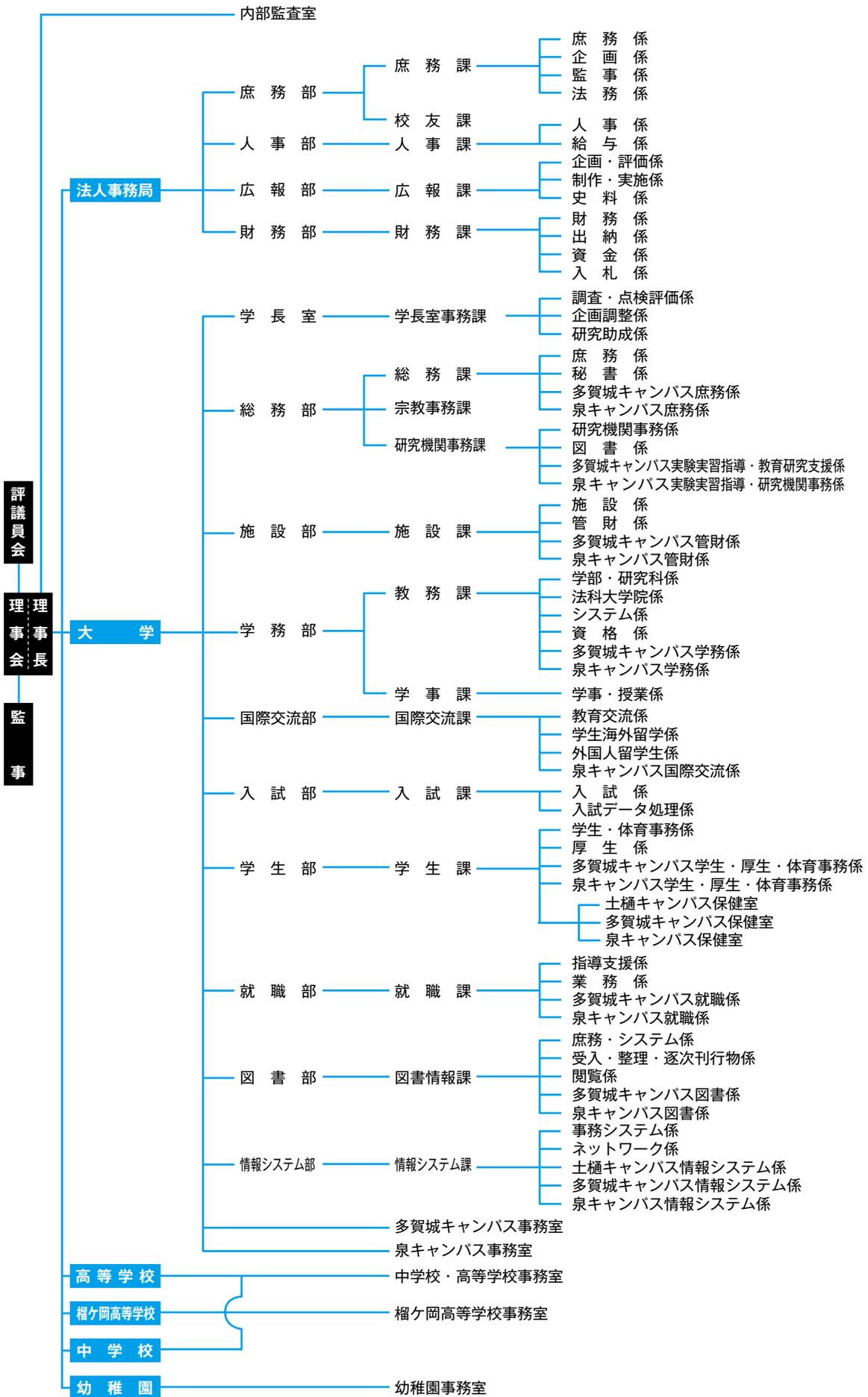
(平成26年3月31日現在)



(※募集停止している専攻及び学科は除いて記載)

# 8. 事務組織

(平成 26 年 3 月 31 日現在)



## 9. 入学定員、編入学定員、収容定員、在籍者数及び退学・除籍者数

(単位：人)

		入学定員 (平成 25 年度)	編入学定員 (3 学年次)	収容定員 ※ 1	在籍者数 (H25.5.1 現在)	在籍者数 ※ 2 (H26.3.1 現在)	退学・除籍者数 ※ 3 (H26.3.31 現在)	
大 学 院	博士課程前期課程	文学研究科	20		40	22	22	0
		経済学研究科	8		16	0	0	0
		経営学研究科(修士課程)	8		16	13	13	0
		法学研究科	10		20	2	2	0
		工学研究科	32		64	44	42	1
		人間情報学研究科	8		16	10	10	0
		小計	86		172	91	89	1
	博士課程後期課程	文学研究科	7		21	6	6	0
		経済学研究科	2		6	2	1	1
		法学研究科	2		6	0	0	0
		工学研究科	8		24	2	2	0
		人間情報学研究科	3		9	2	2	0
	小計	22		66	12	11	1	
専門職学位課程	法務研究科	30		90	13	10	2	
大学院合計		138		328	116	110	4	
学 部	文学部	英文学科(昼間主コース)	200	16	847	981	959	20
		英文学科(夜間主コース)	30	5	135	140	130	10
		キリスト教学科	※ 4		12	16	14	2
		総合人文学科	30	2	92	100	99	1
		歴史学科	150	6	612	717	701	16
		小計	410	29	1,698	1,954	1,903	49
	経済学部	経済学科	400	18	1,636	1,910	1,879	29
		経済学科(昼間主コース)	※ 5			22	17	5
		経済学科(夜間主コース)	※ 5			9	4	3
		経営学科(昼間主コース)	※ 6			17	11	5
		経営学科(夜間主コース)	※ 6			2	2	0
		共生社会経済学科	170	9	698	801	791	10
		小計	570	27	2,334	2,761	2,704	52
	経営学部	経営学科	310	17	1,274	1,478	1,456	21
	法学部	法律学科	325	12	1,324	1,536	1,507	25
	工学部	機械知能工学科	120	6	492	590	576	11
		電気情報工学科	120	6	492	584	568	15
		電子工学科	100	5	410	483	457	25
		環境建設工学科	100	5	410	497	484	12
		小計	440	22	1,804	2,154	2,085	63
	教養学部	人間科学科	100	5	410	469	463	5
		言語文化学科	100	5	410	492	488	3
		情報科学科	100	5	410	469	458	10
		地域構想学科	100	5	410	497	489	6
		小計	400	20	1,640	1,927	1,898	24
	学部合計		2,455	127	10,074	11,810	11,553	234
	大学		2,593	127	10,402	11,926	11,663	238
高等学校		360		1,080	1,141	1,136	4	
榴ヶ岡高等学校		270		810	1,019	1,000	19	
中学校		※ 7 300		900	521	517	※ 9 1	
幼稚園		※ 8 40		200	190	196	4	
総計		3,563		13,392	14,797	14,512	266	

[注]

- ※ 1 収容定員は、学部が平成 22 年度から、大学院が修了年限に応じて平成 23 年度又は平成 24 年度からの合計定員を記載。
- ※ 2 平成 26 年 3 月 31 日現在の在籍者数は、修了者数、卒業者数、卒園者数及び平成 26 年 3 月 31 日付け退学・除籍者数を含む。
- ※ 3 平成 26 年 3 月 31 日現在の退学・除籍者数は、平成 25 年度内の退学・除籍者数である。ただし、平成 26 年 3 月 31 日付け退学・除籍者数及び平成 25 年度内に復籍手続をした数を除く。また、平成 26 年度から遡って平成 25 年度での退学・除籍を承認した数を除く。
- ※ 4 文学部キリスト教学科は、平成 23 年 4 月学生募集停止、同年 4 月文学部総合人文学科を設置。
- ※ 5 経済学部経済学科昼間主コース及び夜間主コースは、平成 21 年 4 月学生募集停止、同年 4 月経済学部経済学科、共生社会経済学科を設置。
- ※ 6 経済学部経営学科昼間主コース及び夜間主コースは、平成 21 年 4 月学生募集停止、同年 4 月経営学部経営学科を設置。
- ※ 7 中学校の入学定員 300 人は学則の入学定員。募集人数は 180 人。
- ※ 8 幼稚園の入学定員 40 人は 3 歳時の募集人数を記載。
- ※ 9 中学校退学者 1 名は、国外への一家転住による。

# 10. 入学定員、志願者数及び合格者数

(単位：人)

		平成 23 年度			平成 24 年度			平成 25 年度			
		入学定員	志願者数	合格者数	入学定員	志願者数	合格者数	入学定員	志願者数	合格者数	
大 学 院	博 士 課 程 前 期 課 程	文学研究科英語英文学専攻	10	8	6	10	7	4	10	6	3
		文学研究科ヨーロッパ文化史専攻	5	4	4	5	1	1	5	2	2
		文学研究科アジア文化史専攻	5	4	4	5	5	4	5	0	0
		経済学研究科経済学専攻	8	0	0	8	0	0	8	1	1
		経営学研究科経営学専攻(修士課程)	8	10	7	8	8	6	8	11	10
		法学研究科法律学専攻	10	1	1	10	1	1	10	4	4
		工学研究科機械工学専攻	8	8	6	8	5	4	8	2	1
		工学研究科電気工学専攻	8	6	5	8	10	8	8	5	5
		工学研究科電子工学専攻	8	5	5	8	12	6	8	6	5
		工学研究科環境建設工学専攻	8	7	7	8	4	4	8	8	8
		人間情報学研究科人間情報学専攻	8	8	7	8	3	2	8	8	8
小計	86	61	52	86	56	40	86	53	47		
大 学 院	博 士 課 程 後 期 課 程	文学研究科英語英文学専攻	3	0	0	3	1	1	3	0	0
		文学研究科ヨーロッパ文化史専攻	2	0	0	2	1	1	2	0	0
		文学研究科アジア文化史専攻	2	2	1	2	1	0	2	0	0
		経済学研究科経済学専攻	2	0	0	2	0	0	2	0	0
		法学研究科法律学専攻	2	0	0	2	0	0	2	0	0
		工学研究科機械工学専攻	2	0	0	2	0	0	2	0	0
		工学研究科電気工学専攻	2	0	0	2	0	0	2	0	0
		工学研究科電子工学専攻	2	0	0	2	1	1	2	0	0
		工学研究科環境建設工学専攻	2	0	0	2	0	0	2	0	0
		人間情報学研究科人間情報学専攻	3	1	1	3	1	1	3	0	0
		小計	22	3	2	22	5	4	22	0	0
専門職学位課程	法務研究科法実務専攻	30	15	7	30	16	7				
大 学 院 合 計	138	79	61	138	77	51	108	53	47		
学 部	文 学 部	英文学科(昼間主コース)	200	792	507	200	860	482	200	830	452
		英文学科(夜間主コース)	30	69	54	30	65	47	30	57	46
		総合人文学科	30	188	73	30	181	86	30	228	93
		歴史学科	150	832	362	150	759	385	150	681	384
		小計	410	1,881	996	410	1,865	1,000	410	1,796	975
	経 済 学 部	経済学科	400	1,946	1,099	400	1,927	1,080	400	1,896	1,068
		共生社会経済学科	170	647	415	170	584	364	170	621	354
		小計	570	2,593	1,514	570	2,511	1,444	570	2,517	1,422
	経 営 学 部	経営学科	310	1,139	728	310	1,383	696	310	1,338	637
	法 学 部	法律学科	325	1,245	818	325	1,227	750	325	1,225	714
	工 学 部	機械知能工学科	120	447	338	120	465	318	120	512	302
		電気情報工学科	120	417	335	120	545	340	120	570	337
		電子工学科	100	307	261	100	307	274	100	332	279
		環境建設工学科	100	443	261	100	411	240	100	457	253
		小計	440	1,614	1,195	440	1,728	1,172	440	1,871	1,171
	教 養 学 部	人間科学科	100	626	283	100	625	251	100	652	226
言語文化学科		100	486	257	100	563	234	100	437	223	
情報科学科		100	502	268	100	538	224	100	595	235	
地域構想学科		100	481	229	100	407	237	100	458	197	
小計		400	2,095	1,037	400	2,133	946	400	2,142	881	
学 部 合 計	2,455	10,567	6,288	2,455	10,847	6,008	2,455	10,889	5,800		
大 学	2,593	10,646	6,349	2,593	10,924	6,059	2,563	10,942	5,847		
高 等 学 校	360	1,550	1,248	360	1,466	1,255	360	1,422	1,217		
(内、本院中学校からの進学者)			(157)	(157)		(145)	(145)		(170)	(170)	
榴 ヶ 岡 高 等 学 校	270	2,139	2,014	270	1,932	1,681	270	1,918	1,562		
中 学 校	180	208	191	180	195	185	180	191	184		
幼 稚 園	200	82	79	200	82	82	200	68	68		
(本院幼稚園からの進級児)			(102)	(102)		(114)	(114)		(128)	(128)	
総 計	3,603	14,625	9,881	3,603	14,599	9,262	3,573	14,541	8,878		

[注]

- ※ 年度は入学試験の実施年度を示し、人数はその翌年度の入学者にかかわる入学定員、志願者数及び合格者数を示す。
- ※ 編入学生を除く。
- ※ 工学研究科電子工学専攻(博士課程後期課程)は、平成24年4月に設置。
- ※ 法務研究科法実務専攻(専門職学位課程)は、平成26年4月に募集停止。
- ※ 中学校の入学定員180人は募集人数を記載(学則の入学定員は300人)。
- ※ 幼稚園の入学定員200人は学則の収容定員を記載。

# 11. 修了者数、卒業者数及び卒園者数

(単位：人)

		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
大 学 院	前 期 課 程	文学研究科英語英文学専攻	2	2	5
		文学研究科ヨーロッパ文化史専攻	5	2	2
		文学研究科アジア文化史専攻	8	5	1
		経済学研究科経済学専攻	1	2	0
		経済学研究科経営学専攻	0	0	0
		経営学研究科経営学専攻(修士課程)	15	10	7
		法学研究科法学専攻	2	1	1
		工学研究科機械工学専攻	4	8	6
		工学研究科電気工学専攻	13	11	5
		工学研究科応用物理学専攻	0	0	0
	後 期 課 程	工学研究科電子工学専攻	6	9	5
		工学研究科土木工学専攻	1	0	0
		工学研究科環境建設工学専攻	4	4	5
		人間情報学研究科人間情報学専攻	9	2	7
		小計	70	56	44
		文学研究科英語英文学専攻	1	0	0
		文学研究科ヨーロッパ文化史専攻	0	0	0
		文学研究科アジア文化史専攻	1	0	0
		経済学研究科経済学専攻	0	0	0
専 門 職 位 課 程	法学研究科法律学専攻	0	0	0	
	工学研究科機械工学専攻	0	0	0	
	工学研究科電気工学専攻	0	0	0	
	工学研究科応用物理学専攻	0	0	0	
	工学研究科電子工学専攻	0	0	0	
	工学研究科土木工学専攻	0	0	0	
	工学研究科環境建設工学専攻	0	0	0	
	人間情報学研究科人間情報学専攻	0	1	0	
	小計	2	1	0	
大 学 院 合 計	88	72	50		
学 部	文 学 部	英文学科(昼間主コース)	252	229	232
		英文学科(夜間主コース)	20	25	35
		キリスト教学科	5	7	11
		総合人文学科			
		歴史学科	165	190	169
	経 済 学 部	小計	442	451	447
		経済学科(昼間主コース)	616	56	10
		経済学科(夜間主コース)	90	17	5
		経営学科(昼間主コース)	282	27	8
		経営学科(夜間主コース)	40	7	1
		経済学		363	404
	経 営 学 部	共生社会経済学科		187	187
		小計	1,028	657	615
	法 学 部	経営学		333	343
		法学部	366	388	342
	工 学 部	機械創成工学科	0		
		機械知能工学科	114	131	143
		電気情報工学科	119	120	115
		物理情報工学科	3		
		電子工学科	91	101	103
環境建設工学科		94	78	116	
教 養 学 部	小計	421	430	477	
	教養学科情報科学専攻	1			
	人間科学科	115	127	102	
	言語文化学科	112	108	125	
	情報科学科	117	113	97	
学 部 合 計	地域構想学科	111	108	119	
	小計	456	456	443	
大 学 合 計	2,713	2,715	2,667		
大 高 等 学 校	2,801	2,787	2,717		
榴 ヶ 岡 高 等 学 校	409	393	402		
中 学 校	283	309	308		
幼 稚 園	166	156	178		
幼 稚 園	65	72	63		
総 計	3,724	3,717	3,668		

[注]

- ※ 9月期卒業生及び早期卒業生を含む。なお、9月期卒業生は、異動日の年度に記載している。
- ※ 工学研究科応用物理学専攻(博士課程前期課程)及び土木工学専攻(博士課程前期課程)は、平成22年4月募集停止。
- ※ 工学研究科応用物理学専攻(博士課程後期課程)は、平成24年4月募集停止。
- ※ 工学研究科土木工学専攻(博士課程後期課程)は、平成22年4月募集停止。平成25年度に在籍者はいるが卒業生はいない。
- ※ 文学部総合人文学科(平成23年4月設置)は、該当者なし。
- ※ 経済学部経済学科及び共生社会経済学科並びに経営学部経営学科(平成21年4月設置)は、平成23年度の該当者なし。
- ※ 工学部機械創成工学科(平成18年4月募集停止)は、平成23年度に在籍者はいるが卒業生はいない。
- ※ 工学部機械創成工学科及び物理情報工学科(平成18年4月募集停止)並びに教養学部教養学科情報科学専攻(平成17年4月募集停止)は、平成24年度～平成25年度の該当者なし。

## 12. 所在地一覧

学校法人東北学院	仙台市青葉区土樋一丁目3番1号
東北学院大学 土樋キャンパス	仙台市青葉区土樋一丁目3番1号
東北学院大学 多賀城キャンパス	多賀城市中央一丁目13番1号
東北学院大学 泉キャンパス	仙台市泉区天神沢二丁目1番1号
東北学院高等学校	仙台市宮城野区小鶴字高野123番1号
東北学院榴ヶ岡高等学校	仙台市泉区天神沢二丁目2番1号
東北学院中学校	仙台市宮城野区小鶴字高野123番1号
東北学院幼稚園	多賀城市高崎三丁目7番7号

